

# 大障教ニュース

大阪府立障害児学校教職員組合



ホームページ

# 「今しかない」発達の姿を大事にとらえよう



## 大障教 新歓教研

### 「子どもとかわる楽しさ」 「発達の視点を大事にしつつ」

大障教は4月18日に市内で新任者歓迎教研を開催し、赤木和重さん（神戸大学）が、「子どもとかわる楽しさ」発達の視点を大事にしつつ」と題して講演しました。新任者など388人が参加しました。



講師の赤木和重さん

赤木さんは冒頭に、「最近、楽しんで感じることを難しくさせられているのでは？」と問いかけました。事務仕事に追われたり、有形無形の圧を感じたりして「しょうもない話をしていいのかな？」と、素朴な楽しさを語り合う時間が減ってきている。その中で、教職員の子どもの見る目が固くなっているのでは…と話されました。

「発達」＝「〜ができるようになる」とだけとらえることを、赤木さんは『できる』の「ノロイ」と名付けました。もち

ろん「できる」ことは大事。でもっと大事にしたいことは「子どもの内面を知ること」だと力説。そして、「1歳は1歳、2歳は2歳として、その発達段階はそれぞれの意味を持っている。そのときでなければ味わうことのできない独特の力がそのなかにこもっている」という糸賀一雄さんの言葉も紹介されました。

「できる」ようにさせたくなる「ノロイ」は子どもも先生も頑張っているのにしんどくなってしまう。「ノロイ」をほぐすには、子どもの発達の姿を「今しかない」ととらえることが大事だと話されました。

「今しかない」と思うと、愛おしくなりませんかと。子どもは、未来の準備のために今を生きているわけじゃない。

### 参加者の感想



参加者同士で「雑談」を交わしながら、楽しく学びました

- 今まで考えていた観点と異なるようなことばかりでした。子どもとの関わり方に関しても、教員側の気持ちで教えたり、できるようにさせたりしていたので、子どものペースや気持ちを考えてこれから関わっていこうと思いました。
- これから子どもとたくさん関わっていく中で、「なんでこの行動をするのかな」とか「この支援はどのような意味があるのかな」とか、他の先生と相談しながら頑張っていきたいと思いました。
- 自分一人では考えつかない視点からの子どもとの関わり方、子どもの思いを知ることができました。積み木を4つ積んだ子どもに対して、5つ目を積みせようとするのは、「今どんな世界に子どもが向き合っているのかわからなくなるのがもったいない」というお話が印象的でした。

- 「できる」のノロイ…印象に残りました。社会や教育環境からの圧を感じることも増えていると思います。
- こういう姿になってほしいという思いもあるけれど、子どもの気持ちを大切にしたいと再確認できたように思います。

今を充実させて行くことが大事になると語られました。赤木さんの講演は、近くの人と雑談タイム（対話で）を設けながら行われ、少し重くなってしまう。言い放しでいいとのことでした。

大阪府立障害児学校教職員組合 大阪市天王寺区東高津町7-11 府教育会館704号 TEL 06-6765-8904 FAX 06-6765-8905



政府は、国家・地方公務員を予備自衛官として動員しやすくするため、手続きを大幅に緩和する「予備自衛官等兼業特例法案」を国会に提出しました。慢性的な人手不足が続く予備自衛官の安定的な確保が狙いです。

形式的には、公務員が予備自衛官としての活動をしやすくする「自由度を高めるもの」になっていますが、実質的には、職場から予備自衛官応募への「圧力」につながる可能性も指摘されています。

法案を紹介した防衛相のアカウントには、「戦争する国まっしぐら」「徴兵制度への第一歩」「公務員がこんな形で動員されて本場に良いのか」などの批判が相次いでいます。

「予備自衛官等」には、普段は社会人として職場に従事しながら、◎年5日程度訓練し、有事や大規模災害で招集され、後方支援や警備などを行う「予備自衛官」、◎年30日程度訓練し、有事などで直ちに自衛官として活動する「即応予備自衛官」、◎未経験者を訓練する「予備自衛官補」の3種類があります。防衛相によれば、充足率は予備自衛官が7割、即応予備自衛官が約5割にとどまっています。

防衛省は、人手不足解消に加え、「国の責務」としての予備自衛官の重要性への「国民の関心と理解を深める」ことも同法案の狙いとして挙げています。

小泉防衛相は記者会見で「今後、更なる予備自衛官の充足率向上につなげたい」とし、「法案は、民間人は対象外だが、予備自衛官を雇用する企業にも、公務員同様の対応を期待したい」と表明しました。

高市政権は、憲法9条改憲の準備やアメリカの意を汲んだ大軍拡を急速にすすめています。「戦争する国」ではなく、9条を生かした平和な世界を築くために力を尽くすことを願います。

# 文科省「公立特別支援学校教室不足調査」結果公表

# 大阪の教室不足数は358室 実態と大きくかけ離れた調査結果

文科省「公立特別支援学校における教室不足調査の結果について」

		2021	2023	2025
児童生徒等の増加に伴う一時的な対応をしている教室数	仮設建物借用教室(プレハブなど)	① 34	33	0
	特別教室の転用	② 97	166	2
	管理諸室の転用	③ 20	29	0
	教室の間仕切り	④ 44	58	13
	体育館・廊下等の間仕切り	⑤ 13	15	0
	倉庫・準備室等の転用	⑥ 14	15	3
	その他の対応	⑦ 320	337	358
	①～⑦の合計(※)	542	653	376
(※)のうち、授業の実施に支障が生じており、今後整備する必要がある教室数	(A)	528	364	358
今後必要が見込まれることから、新たに整備が必要な教室数	(B)	0	6	0
不足教室数(A)+(B)		528	370	358
(A)+(B)のうち2026年度までに解消が計画されている教室		90	45	0
【参考】保有教室(普通教室+特別教室)			2,727	2,817

文科省は、2025年10月1日時点の「公立特別支援学校における教室不足調査の結果について」を4月10日に公表しました。国の教室不足数は3192室で、前回2023年度調査より167室の減少、在籍する児童生徒数は7562人増加しています。

大阪においては、不設されたのは2024年度開校の出来島支援表の①～⑥の室数が大

大阪の結果について、①～⑥の仮設建物や転用教室などで「支障が生じていない」と判断されたと言わざるを得ません。⑦「その他の対応」は、「設置基準」に基づいて定員どおりに対応した場合に不足している室数で、「358室」にのびります。実態として、小学部、中学部でも10人を超える人数で、「圧縮」した学級編成にせざるを得ない状況が常態化しています。

大障教では、調査結果の詳細を把握し、引き続き、新校整備を府教委に求めています。

足教室数358室で前回調査370室から減少していますが、前回同様、全国ワースト2です。この2年間で大阪の支援学校全体の児童生徒数は459人増加し、とりわけ、知的障害の支援学校では、520人増加しています。この2年間で、新設されたのは2024年度開校の出来島支援表の①～⑥の室数が大

大阪の結果について、①～⑥の仮設建物や転用教室などで「支障が生じていない」と判断されたと言わざるを得ません。⑦「その他の対応」は、「設置基準」に基づいて定員どおりに対応した場合に不足している室数で、「358室」にのびります。実態として、小学部、中学部でも10人を超える人数で、「圧縮」した学級編成にせざるを得ない状況が常態化しています。

大障教では、調査結果の詳細を把握し、引き続き、新校整備を府教委に求めています。

## 要求と運動で前進！2026年4月から始まる制度など



### 1. 地域手当が11.8%→12.8%へ

国は、地域ごとに0%～20%の差をつける「地域手当」ですが、「府内一律支給せよ」と要求をかけた府労組連交渉を実施し、05府人勸において「15%の支給を基本として、府域の一体性を考慮した対応を講じる必要」と勧告させました。今後も、「府内同一経済圏」を堅持させるとりくみが求められます。支給額が改悪され11%となっていました。2018年の交渉で11.8%となり、2025年交渉で1%引き上げの12.8%となりました。

### 2. 通勤手当制度の改正

昨年度の府労組連交渉において府当局から引き出した回答の具体化が始まります。

#### (1) 交通機関の通勤経路基準の緩和

自宅最寄駅から勤務先最寄駅までの認定は「1分でも時間短縮または1回でも乗換回数が減る」および運賃の「5割増まで」認定可でした。4月から「5割増まで」の制限がなくなります。

#### (2) 駐車場等の利用に関する手当の新設

①常勤職員：月額5千円の範囲内で手当支給

②非常勤職員：1日あたり上限250円が支給

\*対象は、自家用自動車等(自動二輪車、原動機付自転車を含む)の使用による通勤認定で、「カークラブ」「コインパーキング」も対象です。

### 3. 会計年度任用職員の労働条件改善

#### (1) 年休繰り越し要件の緩和

これまで、「同一校において同一の職に継続して任用された場合」に、年休繰り越しが認められましたが、「同一の職に継続して任用された場合」に緩和されます。

#### (2) 病気休暇の改善

これまで「無給」でしたが、週5日以上勤務または週29時間以上かつ6か月以上の任期の者は、90日のうち10日は「有給」となります。対象職員が少なく、取得要件の緩和が必要ですが、「有給」への道を開いたことは今後の足掛かりとなります。

### 4. 府立学校における栄養教諭の代替配置の変更

大障教栄養教諭部がかねてから要求し、大障教専門部交渉、本部交渉で取り上げ、人事課長から「検討」の回答を引き出し、以下の通り具体化されました。

	育児短時間勤務	高齢者部分休業	体育実技軽減
現行	非常勤	非常勤	非常勤
4月1日～	常勤	常勤	常勤

### 5. 非常勤講師のサービス日以外の結核検診の公費実施

これまで「サービス日」に限られていた結核検診の受検が、「サービス日」以外でも、申込書の提出により公費で受検が可能となります。大障教は、公費での「雇用時健診」実施を要求しています。